

日本語感、二

言語観、言誤観。

何のために学ぶか？

日本語にしがみつきのながら外国語を習得していくとおそらく 3 から 4 カ国目ぐらいから自然と日本語に対してじわじわと「日本語に戻ろう」の精神が宿ってくる。それは日本語というものが独立して存在しているということを知るからかもしれない。

外国語、特に英語や中国語は意思疎通のために。必要性。グローバル化、世界中の人々との交流、政治やビジネスなどで必須であろう。

でも日本語をおきざりにしないこと。日本人らしきをも捨てることとならないように。

そうすれば、外国語を学ぶにつれて日本語のことももっと学べるのでは？日本語という異色の言語を見つめなおす機会を大いにつくって、それを生かしていこう。外国語を学ぶ＝日本語を学ぶ、であってほしい。

2009 年 5 月 12 日

西田 賢司